

AGC Review

[株主通信]

Vol.29

2016年9月発行

株主の皆さまとのコミュニケーション誌

AGC 旭硝子

証券コード：5201

ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2016年上半期は、円高やディスプレイ事業の出荷減少等の影響を受け、売上高は減収となりましたが、営業利益は欧州を中心としたガラス事業の大幅な改善や、原燃材料価格下落等のコストダウンにより、前年同期に比べて57億円の増益となりました。また、上半期の営業利益が期初予想を上回ったことから、通期の営業利益予想を750億円から840億円に上方修正しています。

中間配当金については、期初予想どおり1株当たり9円といたしました。期末配当金についても、期初予想どおり1株当たり9円を予定し、年間配当金は1株当たり18円を予定しています。

なお、株主の皆さまにご好評をいただいている工場見学会を、より多くの株主の皆さまにご参加いただけるよう、今年は頻度を増やすことにしました。見学会の概要については本誌中に記載していますのでご覧の上、ぜひご応募ください。

経営方針 **AGC Plus** に掲げた経営目標を達成し、株主の皆さまのご期待に応えるべく、役員・従業員一同全力を尽くす所存です。

今後ともAGCグループになお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役兼社長執行役員CEO

島村 琢哉



業績ハイライト

売上高

円高やディスプレイ事業の売上高減少等の影響を受け減収

営業利益

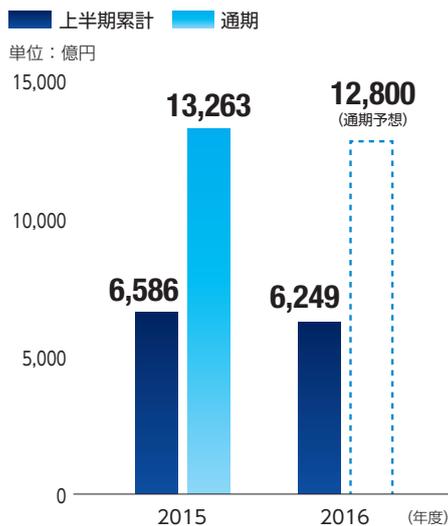
建築用ガラスの販売価格上昇、自動車用ガラスの出荷数量増加等や原燃材料価格下落等のコストダウンにより増益

親会社の所有者に
帰属する四半期純利益

2015年度に計上した退職後給付制度改定益が2016年度は発生しなかったことから減益

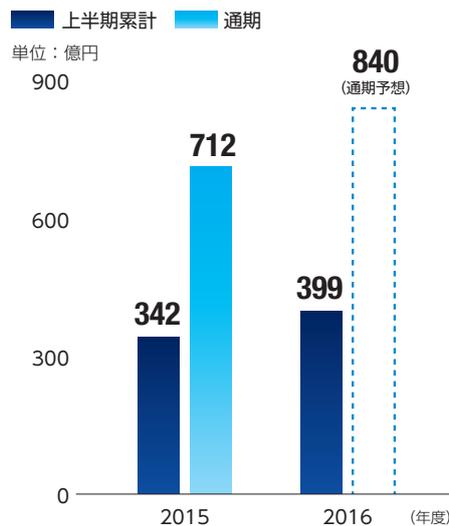
売上高

6,249億円 (前年同期比 5.1%減)



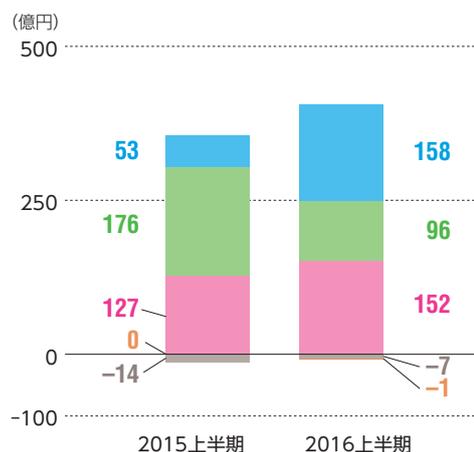
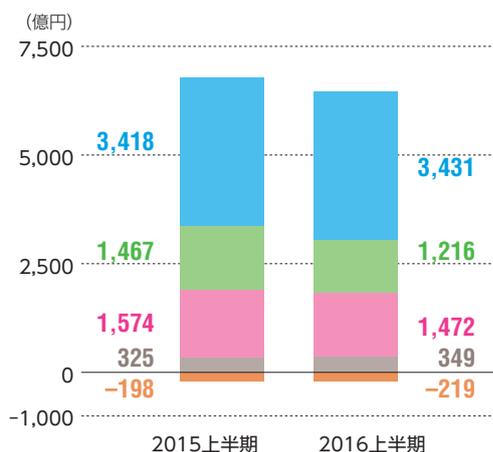
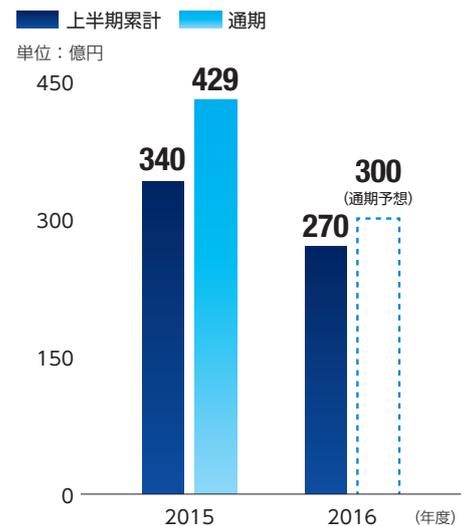
営業利益

399億円 (前年同期比 16.5%増)



親会社の所有者に帰属する当期純利益

270億円 (前年同期比 20.5%減)



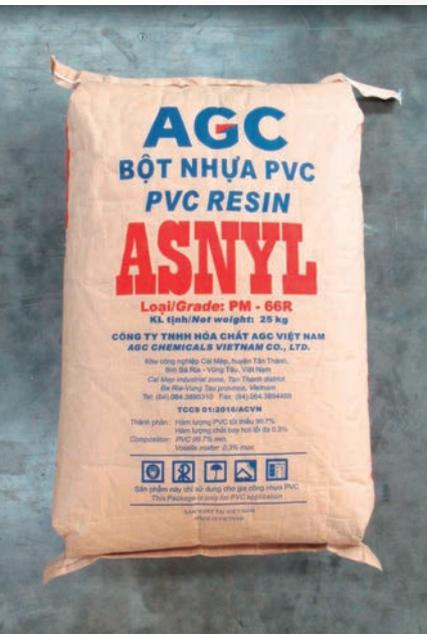
- ガラス事業
- 電子事業
- 化学品事業
- セラミックス・その他の事業
- 消去



▲アサヒマス・ケミカル社の外観

東南アジア における

化学品事業の成長戦略



▲塩化ビニル樹脂 (PVC) のパッケージ (AGCケミカルズ・ベトナム社)

AGCは、経営方針 **AGC Plus** の中で、東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業を成長事業の一つに位置づけています。今回は、その取り組みをご紹介します。

東南アジアの苛性ソーダ・塩化ビニル樹脂 (PVC) などの基礎化学製品の市場は、年率5%超の成長が見込まれています。インドネシアの当社子会社アサヒマス・ケミカル社 (ASC社) は、この需要拡大に対応するため、2013年から設備増設に取り組み、本年第1四半期から新設備での生産を開始しました。

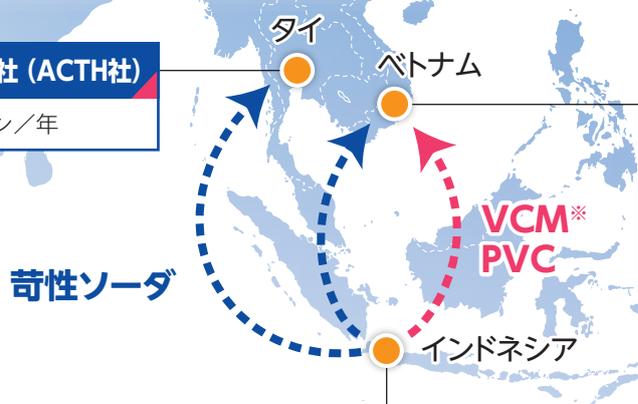
また、2014年にAGCが資本参加したベトナムのAGCケミカルズ・ベトナム社 (ACVN社) でも、本年上期から生産能力を1.5倍に増強しています。これらの能力増強により、東南アジア地域での旺盛な需要を確実に取り込み、東南アジア全体を面とらえての事業を展開します。

加えて、この事業の主要コストである電力代を大幅に削減し、さらなる競争力強化を図るために、ASC社に発電所を建設しています (2017年内に運転開始予定)。

AGCは、これら一連の施策を通じてクロール・アルカリ事業地域No.1の地位をさらに確固たるものにします。

東南アジアにおける事業展開

AGCケミカルズ・タイランド社 (ACTH社)
苛性ソーダ：35万トン/年



AGCケミカルズ・ベトナム社 (ACVN社)
2014年買収時 2016年能力増強後
PVC：10万トン/年 → 15万トン/年

アサヒマス・ケミカル社 (ASC社)		
	従来能力	2016年能力増強後
苛性ソーダ：	50万トン/年	→ 70万トン/年
PVC原料 (VCM)：	40万トン/年	→ 80万トン/年 (2018年：90万トン/年に追加増強)
PVC：	30万トン/年	→ 55万トン/年

※塩化ビニルモノマー

デジタルサイネージ体型のマルチメディアホームドアを開発

AGCは、東京急行電鉄(株)、日本信号(株)、三菱電機(株)と共同でデジタルサイネージ体型のマルチメディアホームドアを開発しました。本年6月以降、東急東横線武蔵小杉駅および東急大井町線溝の口駅で実証実験を行っています。

AGCは、今回ガラス一体型デジタルサイネージ「infoverre®(インフォベール)」を提供しました。独自の光学接合技術を活かしたインフォベールが、鮮やかな映像を実現しています。



▲設置イメージ



▲マルチメディアホームドアイメージ



担当者より

ホーム上での新たな情報発信のツールとして「infoverre®(インフォベール)」をご採用いただき、映像の鮮やかさ、製品の薄さに高い評価をいただきました。今後は幅広い領域でインフォベールをご採用いただくことで、より「安全・安心・快適」な世の中に貢献し、成長が見込まれるデジタルサイネージ市場に新しい価値を提供することが目標です。

AGCファブリテック株式会社 中川 雅之

車載ディスプレイ用カバーガラスの供給体制を拡充



▲車載ディスプレイ (イメージ)

AGCは、化学強化用特殊ガラス「Dragontrail®」を用いた、車載用に適したディスプレイ用カバーガラスを販売しています。今後もさらなる需要拡大が見込まれることから、生産能力の増強を進め、本年4月から新たな設備が稼働を開始しました。

AGCの車載ディスプレイ用カバーガラスは、ガラスという素材の持つ高級感に加え、コーティングや装飾印刷によって車載用ナビゲーションシステムや運転情報表示パネルが見やすく、また操作しやすいことが評価され、既に30車種以上に採用が決定しています。

AGCは、今後も車載ディスプレイ用カバーガラスのパイオニアとして、新たな価値をプラスした製品をご提供できるよう技術革新を進めます。

キリン横浜ビアビレッジにAGCの「アタッチ®(太陽光発電仕様)」が初採用

AGCの省エネ窓改修用Low-Eガラス「アタッチ®(太陽光発電仕様)」が、キリン横浜ビアビレッジの試飲室に初めて採用されました。

「アタッチ®」は、夏の暑さや冬の寒さを和らげ、不快な結露を抑えて、快適に過ごすことができる点に加え、従来の窓改修よりも施工期間や費用を抑えることができる点が評価され、オフィスビルや店舗などで採用が拡大しています。さらに今回採用いただいた製品は、太陽光発電機能を付加しました。

AGCは、今後も省エネや快適性向上に貢献する製品を提供していきます。



▲キリン横浜ビアビレッジの試飲室

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

株式関係業務における マイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届けに関する お問合せ先

証券口座にて株式を管理されている株主様
⇒お取引の証券会社までお問合せください。

証券会社とのお取引がない株主様
⇒下記フリーダイヤルまでお問合せください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 232-711 (通話料無料)

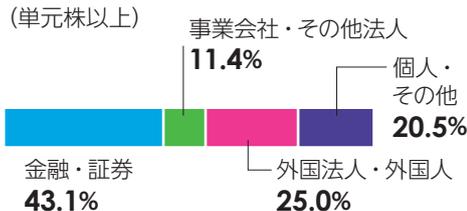
会社概要 (2016年6月30日現在)

名称
通称社名 AGC旭硝子
AGC ASAHI GLASS
登記社名 旭硝子株式会社
ASAHI GLASS CO., LTD.
創業 1907年9月8日
設立 1950年6月1日
資本金 90,873,373,264円
本社所在地 〒100-8405
東京都千代田区丸の内
一丁目5番1号
(新丸の内ビルディング)
電話 (03) 3218-5096
連結対象子会社数
202社 (うち海外164社)

株式の状況 (2016年6月30日現在)

発行済株式総数 …………… 1,186,705,905株
株主数 …………… 65,374名
(単元株以上株主 …………… 54,786名)

株主の状況 (2016年6月30日現在)



株式関連情報

事業年度
毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会開催月 3月
基準日 定時株主総会 12月31日
期末配当 12月31日
中間配当 6月30日

公告方法 電子公告

[公告掲載アドレス] <http://www.agc.com>

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
[電話お問合せ・郵便物送付先]
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 (0120) 232-711 (通話料無料)

配当金のお支払いについて

配当金は、支払開始の日から満5年を経過いたしますと、定款の定めにより、お支払いができなくなりますので、お早めにお受け取りください。
なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

株主様をご所有の当社単元未満株式 (1~999株) につきましては、当社に対し買取・買増をご請求することができます。お手続き用紙のご請求その他お手続きの詳細は、下記お問合せ先までご連絡ください。

株式に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている証券会社等	三菱UFJ信託銀行株式会社 (特別口座管理機関) 電話 (0120) 232-711 (通話料無料) ※特別口座に登録された株主様の住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取、口座振替に必要な各用紙のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル (0120) 244-479 (24時間・自動音声対応) をご利用ください。